

## 十和田の火山活動解説資料

仙台管区气象台  
火山監視・情報センター

十和田では、昨日（1月27日）昼前から夜にかけて地震活動が活発な状況になりましたが、本日（1月28日）に入り地震回数は減少しています。  
火山活動に特段の変化はなく、噴火の兆候は認められません。

### ○ 活動概況

#### ・地震や微動の発生状況（図1～2）

十和田湖付近では、昨日（1月27日）10時過ぎから中湖（なかのうみ）付近の深さ4～7kmを震源とする地震が増え始め、地震計で観測される地震回数は17時～19時頃にかけては1時間あたり100回以上と多い状況になりました。気象庁が震度情報の発表に使用する震度計では、震度1以上を観測する地震はありませんでしたが、地元への聞き取り調査によると、昨日昼頃から夜にかけて、複数回の体に感じる揺れ（震度1～2相当）があったということです。

しかし、27日夜から地震は徐々に減少し、28日に入ってから1時間あたり数回の発生状況となっています。

低周波地震、火山性微動は観測されていません。

#### ・その他の活動状況

地元への聞き取り調査の結果、噴気や表面現象に関する異常は認められません。

国土地理院の広域的な地殻変動観測結果によると、十和田付近の地殻変動に変化は認められていません。

气象台では火山活動を含め注意深く監視しています。今後、活動に変化がみられる場合には、解説情報等を発表します。

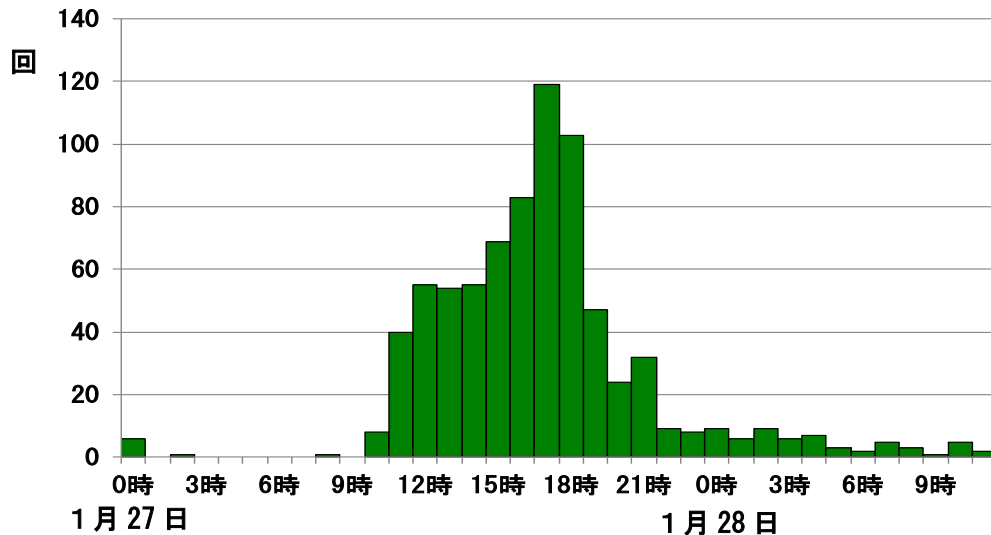


図1 十和田付近を震源とする地震回数（暫定値）

表示期間：2014年1月27日00時～28日12時

計数基準：H小坂観測点で上下動振幅1.0 $\mu$ m/s以上、S-P時間2秒以内

この火山活動解説資料は、仙台管区气象台のホームページ (<http://www.jma-net.go.jp/sendai/>) や、気象庁ホームページ (<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>) でも閲覧することができます。

この資料は気象庁のほか、弘前大学、東北大学、国土地理院、独立行政法人防災科学技術研究所、青森県のデータを利用して作成しています。

本資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の「数値地図50mメッシュ（標高）」を使用しています（承認番号 平23情使、第467号）。

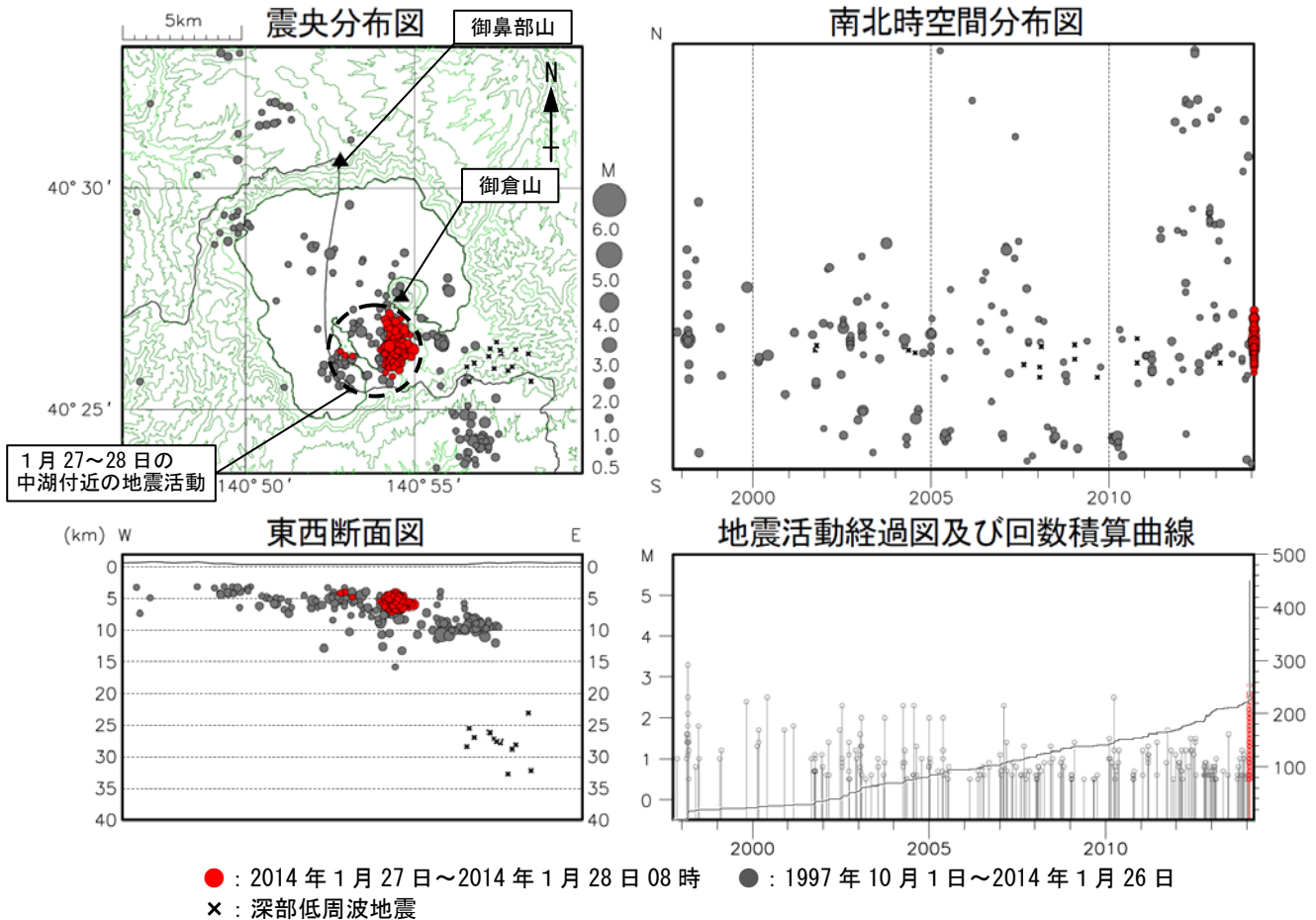


図 2 十和田 広域地震観測網による十和田周辺の地震活動図 (1997 年 10 月～2014 年 1 月 28 日 08 時)

- ・ 2001 年 10 月以降、検知能力が向上しています。
- ・ 低周波地震については、1999 年 9 月から識別して登録を開始しました。
- ・ 1 月 28 日 00 時以降はマグニチュード 2.0 以上のみを表示しています。
- ・ マグニチュードは地震の規模を示します。資料中の値は暫定値及び速報値が含まれますので、後日変更することがあります。

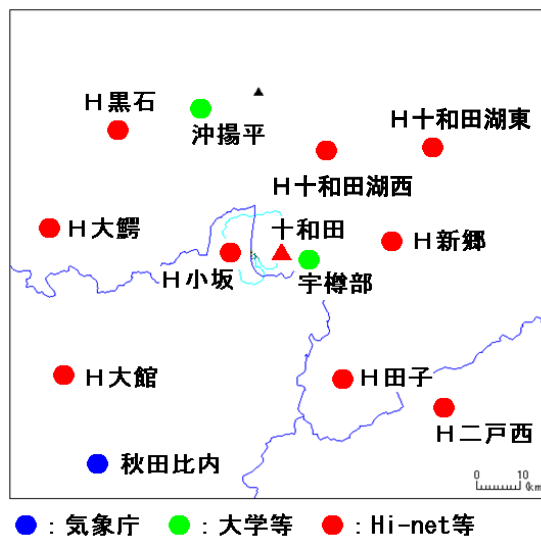


図 3 十和田周辺の地震観測点配置図

本件に関する問合せ先：  
 仙台管区气象台 気象防災部  
 地震火山課 火山監視情報センター 現業  
 0 2 2 - 2 9 7 - 8 1 6 4 (24 時間対応)